



学校通信

夕陽丘 第16号



激動の社会へ飛翔

校長 西出 博行



寒中に咲く水仙の香りに誘われて、厳寒に耐え抜いた梅のつぼみもようやく開花し、日ごとに確かな春の訪れが感じられます今日の佳き日、普通科236名、音楽科39名の生徒が本校を巣立ちます。第61期卒業生の皆さん、並びに保護者の皆様、ご卒業ほんとうにおめでとうございます。

思い起こせば三年前の春爛漫の四月、皆さんは厳しい入学試験を突破して、歴史と伝統ある本校に入学しました。あれから早や三年の歳月が過ぎ去ろうとしています。その間、皆さんはこの学び舎で青春という名にふさわしい多くの貴重な体験をしました。

ところ狭しと力いっぱい走りそして懸命に踊った体育祭。ステージやイベント、食品バザーでクラス丸となって取り組んだ文化祭。北海道の自然を満喫し忘れがたい思い出となった修学旅行。見事なハーモニで聴衆を魅了した合唱コンクール。その他、定期演奏会、英語スピーチコンテスト、百人一首カルタ大会など数えればきりがありません。また、力の限り頑張った部活動では、幾多の壁に直面しながらも粘り強く立ち向かい、一生の宝となるかけがえのない友情を育むとともに、人間的にも大きく成長したことと思います。

一方、勉学の方では熱心な先生方の指導に答えるべく真剣に授業や講習を受ける態度は立派でした。時には、思うように成績が伸びずに焦ったり、将来の進路に思い悩んだこともあったでしょう。見事、進路を決めた人も今後さらに挑戦する人も、これからが本当の勝負所です。学習に対する情熱を一層強く持ち、どんな社会にも対応できるゆるぎない実力を身につけてほしいと願っています。

さて、社会に目を転じますと、アメリカの金融危機に端を発した世界的大不況がわが国にも押し寄せ、経済活動や雇用、日々の生活に大きな影響を与えています。また、尊い生命をいとも簡単に奪ってしまう残虐な事件や食品の安全性や信用を揺るがす偽装事件が多発しています。一方、社会の変化するスピードは年々加速度を増し、アメリカの未来学者、アルビン・トフラーが予測したように、社会全体がその変化の波に吞まれ戸惑っているようにも思えます。このような流動的で変化の激しい社会に船出する皆さんにとって、楽しいことばかりではなく、行く手には大きな荒波が立ちはだかることもあるでしょう。これからの人生行路を突き進む上でぜひ心に刻んでほしい言葉を二つ、はなむけとして送りたいと思います。

一つ、「悩むことを恐れず真剣に考えて乗り越える」

一つ、「大きな夢を持って、その実現に挑戦する」

皆さんは今、無限の可能性を秘めています。一度しかない貴重な人生、それを素晴らしい実りあるものにするもしないも今後の努力次第です。健康にはくれぐれも留意し、春秋に富む山あり谷ありの人生を力強く突き進んでください。未来の旅路に幸多かれと心より祈っています。

発行 〒543-0035 大阪市天王寺区北山町10-10 大阪府立夕陽丘高等学校

TEL 06-6771-0665 **FAX** 06-6771-6267 **E-mail:** z-yuhigaoka@sbox.osaka-c.ed.jp

ホームページ <http://www.osaka-c.ed.jp/yuhigaoka> (題字 森 敏行先生)

携帯電話からも入れます。携帯用HPもあります。

幸せに...!

第三学年主任 津村 知宏

卒業生へ

おめでとう。みなさんが入学し、あっという間に早3年が過ぎました。みんなや担任の先生方の笑顔が見たい。卒業を迎えたときに、「夕陽に来て最高やった」「担任してよかった」となれるように頑張ろう。そう心に決めたことが昨日のようです。

入学当時の幼くてあどけない顔、遠足の日が誕生日だった人、体育祭での看板づくりでペンまみれになった人、分担し協力しあえた演劇やバザー、百人一首とその後で食べたぜんざい、聞く集中力にも感動させられた英語暗唱大会、滑って転んで笑ったアイススケート、みんなの声と心織り成した合唱大会、楽しかった球技大会... 1年生だけでも本当にたくさんの行事があり、めまぐるしく時が去っていきました。

そして行事を終える度、みなさんが大きく成長したことを何よりうれしく思います。行事は一見してそれぞれ華やかです。しかし、逆に「もうアカンかも」「もう無理だ」と厳しい状況のクラスもありました。でも最後は何とかしてみせた61期。そして、より互いに信頼し深め合える61期。そんな中身の濃い時間をみなさんと共に過ごせたこと、すごく幸せに思います。

ありがとう。

これからの人生、厳しく険しいことが起きるかもしれません。でも「迷うな」「恐れるな」「あきらめるな」。学校で学んだ多くの知識は、やがて消し去られる。でも、そこで学んだ知恵や経験が太い幹となっていけば、絶対に乗り越えられるはずです。

「幸せになる」 ...これが61期への宿題です。

「幸せ」の語源は、「為しあわせ」という言葉だそうです。つまり、「幸せ」とは、お互いが相手のために何かを「してあげよう」という意味です。みなさんは、これからそれぞれの道を歩むでしょう。でも、一人じゃない。みなさんが、互いに「してあげよう」という気持ちでいる限り、もうすでに「幸せ」になっています。

「幸せ」の公式があるならば... 「幸せ」 = 「してあげる」 × 人数 となり、

61期での「幸せ」の公式は... 「幸せ」 = 「してあげる」 × 人数 × 思い出の数 となる

「幸せ」を逃がさないように、自分の手で「幸せ」を掴み続けてください。私たちは、「自分だけを幸せにする力」を持っていません。しかし、「誰かを幸せにする力」は、誰もが持っています。

ゲーテは「天国に一人でいたら、これより大きな苦痛はあるまい」とまでいっています。

大切なことは目に見えない。幸せは、日々のどこかに潜んでいて、あなたに見つけられることを待っているのかもしれない。

これからも互いを思いやり、豊かな人生を築いて下さい。

「幸せ」は
身近なところに
あるものです。



さあ、キャンプイン

2年学年主任 岩元 健

WBC (World Baseball Classic) で賑わいを見せている野球界ですが、プロ野球も2月から各チームキャンプに入り、これからの1年間の長い戦い(ペナントレース)に備え、選手個々に磨きをかけている最中です。

さあ、君たちもいよいよ高校最後の学年を迎え、行事やクラブ活動で後輩たちをリードして行くと同時にそれぞれの進路実現に向け、自身を磨いていかなければなりません。来年3月卒業するとき、人として大きく成長し、それぞれの進路に力強く羽ばたいて行って欲しいと思います。その為には準備期間が大切です。ぼーっとしていると、1年なんてあっという間に過ぎてしまいます。4月からの最終学年を充実したものにするには、この春休みの過ごし方が本当に大事になってきます。プロ野球にたとえて言うなら、まさにキャンプインです。この時期に出遅れた選手は開幕に間に合いません。これからの春休み、毎日の学習やクラブ活動等の計画を立てて取り組み、4月からの開幕に向けしっかり準備しておいて下さい。

勉強の仕方に迷っている人、進路に悩んでいる人、遠慮せずに先生方に聞きなさい。きっと適切なアドバイスをもらえることと思います。どんどん先生方を活用して下さい。

最後に、昨年NHKドラマ「フルスイング」の原作から、伸びる選手(人)たちの共通点というのを書いておきます。どの項目も的を得てもっともなことですが、これからの1年間、特に3・4・7.が大切になってくることでしょう。是非心掛けて下さい。

1. 素直であること
2. 好奇心旺盛であること
3. 忍耐力があり、諦めないこと
4. 準備を怠らないこと
5. 几帳面であること
6. 気配りが出来ること
7. 夢を持ち、目標を高く設定することが出来ること

『甲子園への遺言～伝説の打撃コーチ高島導宏の生涯～』 より

1年生のみなさんへ

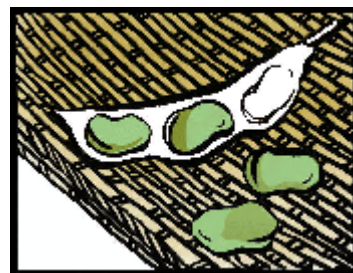
1学年主任 諸正 邦彦

みなさんは高校1年生として、この1年を過ごしてきました。そこで自ら「私はこの1年の間に何を学び、何を蓄積することが出来たか」を問うて欲しい。昨年の5月1日発行の学校通信13号に「学び」とは何か?を投稿しました。そこには「学び」の目的、「学ぶ」ことの意味を書きました。すなわち「利を見て、義を聞かない」という生き方ではなく、「より善く生きる」ための「学び」を訴えました。学ぶとは、「真理探究」です。「真理探究」は一人一人の生き方に通ずるものです。そのためにも「木を見て森を見る」がごとくの生き方を排除し、謙虚に生きることの大切さを訴えました。そして古代ギリシアの哲学者ソクラテスの「無知の知」をみなさんに紹介しました。この1年、みなさんは謙虚に学びましたか。または学ぶことが出来ましたか。「利に走り、木だけしか見ていない」ということはなかったですか。ソクラテスの「無知」に学んだフランスのモラリスト、モンテーニュも「私は何を知るか」と自己省察し、偏見や独断を排除し謙虚に学ぶことの大切さを訴えています。

1年での「学び」が終わり、4月からは2年生の新たな「学び」が始まります。「学び」を通して人間として大きく成長することを期待しています。

ここで再び「日常六心」を贈ります。

- ハイという素直な心。
- ワタシガシマスという奉仕の心。
- オカゲサマという謙虚な心。
- アリガトウという感謝の心。
- スミマセンという反省の心。
- タシャを受け容れ認める慈愛の心。



【 先生のひとりごと 】

～ 想いをこめて ～

T

Aの朝のあいさついいなあー、こっち見て明るく元気よく『おはようございます』って、気持ちいいなあー。たまたま見たけど、学校に来たお客さんにもちゃんとしとったなあー。けど、Bはこっちが『おはよう』って言っても無視やもんなあ。「何であいさつせんのか」ってすごく言いにくいからついつい放っておくけど、ホント何で挨拶せんのかやろう？高校卒業したらするんかなあー恥ずかしいんか？お互い気持ちいいのに。そういえば、声掛けてもあんまり返事してくれんし、返事はせんとあかんぞ。返事したりうなずく事は話してる人が安心してしゃべれるからすごく大切やって誰か言ってたぞ。

Cは、また遅刻しとったなあー。あれだけ「ちゃんとやります」って言ったのに、また早朝指導や。どんな生活してるんやろ。家の人が起こしてもなかなか起きんのやろなあ。やるって決めたらやったらいいのに。言うてるだけって事やな。「遅くまで起きてる」って言っとったなあー。携帯でメールやゲームやってるんやろ。ホント携帯はよくないわ。

Dはクラブ頑張るとるなあー。なんであんなに頑張れるんやろ？朝早くから放課後最後まで手を抜かんとやとる。好きやし、負けたくないんや。でも勉強はせんなあー。同じくらい頑張ればすごく成績上がるのに、テスト前でもやとらんわ。やりたい事はやるけど、やりたくない事はやらんのかーホントもったいな！

Eは、ええやつやなあー。思いやりがあるわ。仲のいい友達も多いし、自分の事もきちりできる。FはEの思いやりや支えがあったから学校生活頑張れるようになったんやろ。みんなが嫌がる事も文句言わんと率先してもくもくとやるし。ほんと夕陽丘高校の全員がええやつになってほしいなあー。

Gもいよいよ卒業か。2年まではいらんのとばかりやとった。担任の先生もお母さんもたいへんやったやろなあー。3年なったら、メチャクチャ代わった。顔つきもかわったなあ。ものごとがちょっとわかったんやろ、がんばりよった。進路どないしたんやろ？んー、1年からがんばとったらよかったのに。でも、まあ「卒業あめでとう」やなあー

「 1 9 7 9 」

加藤 竜也

最近寝る前ベッドで、高2の息子の教科書(もちろん数学以外)を拝借して読み返している。30年前高校生だった自分の青さが脳裏によみがえる。今でも教科書にあるんやなと思いつつ、この年になって親の気持ちで「永訣の朝」を読むと涙がでそうになるし、「山月記」は共感できる。茂木健一郎や吉本ばななが載っていたり、国名標記が変わって「こんな国あったかな」と思ったり、英語の本には30年前には考えもしなかった地球温暖化のことやよく聴いたPOLICEやQUEENのことが活字になっているのを見ると、30年の変遷を感じる。

高校の時、わからなかったことや意味がわからずに覚えて済ましてきたこと(誤魔化してきたこと)が今だからはっきり繋がることがよくあります。読んだことがある、知っているはずなのに、はじめて出会うような感動があります。

君たちも本棚の奥にある教科書を読み返して、新たな1年間に向かって備えませんか。あらためて読んでみると新鮮で新しい発見があるかもしれません。センター試験と呼ばれるものは教科書を逸脱してはいけないルールで作成されていますから、受験に使えるかも知れません。でも何でも知ることに喜びは、もっとかけがえのない経験です。

心を開こう！ 日々、昨日の自分を越えよう！ どんなこともできるようになるう！
満足するな！ 妥協するな！ 自分を信じろ！ 何ができたかではなく、何が**できる**かだ！

始業式、終業式などで、君たちに求めてきた言葉を、少しは覚えてくれていますか？実はどの瞬間も私自身がいつも求めて心がけて、自分を勇気づける言葉です。4月から新しい環境で、身も心も鍛え続けましょう。

【 進路指導部 】 行 事 報 告

「1年進路体験セミナー」

勤労についての望ましい考え方を育成するため、毎年専門学校の協力を得て進路セミナーを行っていますが、今年は希望する分野の専門学校に生徒たちが訪問する形で実施しました。その分野の仕事をしてきた講師の方にお話をうかがうとともに、体験実習をして、より広く深く学ぼうというものです。題して《プロに聞く、プロから教わる～専門学校で知る、あの仕事の表と裏～》。

当日は3限目終了後、医療系や美容系から公務員試験対策を行う法律専門学校まで、16の学校に分かれて、各自で出かけました。ある音楽・映像系の学校では、音楽業界には演奏者以外に様々な仕事・職種があることを学んだ後、近くの公園でCM撮影実習を行いました。撮るのは、夕陽丘高校勧誘のTVスポット広告。台詞が示され、即席に演技がつけられ、最後は参加者全員が画面に入ってポーズ。わずか15秒のコマーシャルを撮影するのにも色んなことが行われている、その一端がわかりました。BGMが入り編集されたものが後日送られてきて、参加者で鑑賞してまた楽しみました。

全体のアンケートでは、3分の2の人が大変満足、4分の1の人がやや満足と答えています。その理由も、「楽しかった・実体験ができた・仕事のことがわかった」などが多数ですが、「現場で働く人の声が聞けた」や、「良い話だけでなく、悪い面の話も聞けた」と書いている人もいます。良かった点(1つ選択)として「職業に対する社会の仕組みがわかった」とする回答が42%、「職場における人間関係の大切さがわかった」が30%あり、「働くとはどういうことか」を理解するという目的が果たせたように思います。

2年「卒業生を囲む会」を終えて

2年生を対象に2月12日(木)に59期生・60期生の大学生・専門学校生を中心に26名の卒業生を招いて「卒業生を囲む会」が実施されました。

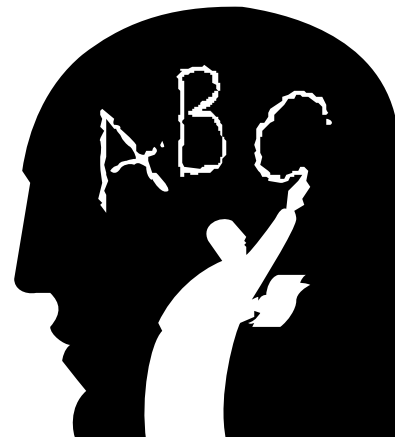
それぞれ文・外国語・国際・商・経済・法・社会・情報・福祉・保育・食物栄養・看護・薬・理・工・音楽・専門学校の各分野別に別れて、それぞれの学校生活、受験勉強、将来の希望や職業についてなどを中心に話しをしていただきました。

在校生の感想では、

「今まで進路に関する説明を聞く機会がたくさんありましたが、今回年齢が近いこともあってわかりやすかった。受験対策をいつから始めたらよいか、大学生活が具体的にどんなものなのか、サークルのことなど知りたかったことがたくさん聞いてよかったです。」

「今日はすごく勉強になりました。今まで進路について考えなければいけないと思っていたけれど、具体的に何をどうすればいいかわかりませんでした。今日の話聞いて、少しずつわかってきました。クラブの先輩の話なのですごくわかりやすかったです。」

「先輩の話聞いて、今からコツコツやることや、毎日規則正しい生活を送ることの大切さがよくわかりました。特に印象に残ったのは、今はしんどいかもしれないが、頑張れば頑張ったぶんだけ伸びる。勉強を頑張って後悔する人はいない。そのことばを聞いてすごく勇気づけられました。」
後輩たちにとって先輩たちのアドバイスは、これからの進学を考えるうえに、大いに参考になったと思います。



教育相談室「あおぞら」

あなたの1年間は、短かったですか？（相談窓口は保健室です！）

2008年度が終わろうとしています。今年度のあなたは、充実していましたか？あっという間に終わったと感じられる人、やっと終わったと思える人、嫌なこととかうれしいことがあったと言える人などさまざまだったでしょうね。

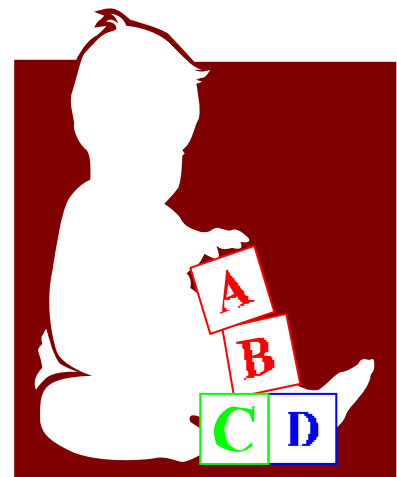
「あおぞら」の1年間を振り返ってみると、みんな自分の話をマジに聞いてほしいんだと感じました。

その内容は自分自身のことや友人(異性を含む)・親のことだったり、クラブを始めとして学校・勉強・進路のことだったりと色々だけど、とにかく自分の言葉で今の気持ちを表現してみる方法として、誰かに聞いてもらって整理してみたという感じじゃないでしょうか？（本当のカウンセリングなら聞き手の感想とか想いは言わないそうですが、一応大人の見解も参考になるかどうかは判らないけれど聞けますしね）

この1年間で、46人のあなた達の仲間と出会いました。何回か重ねて話をした人もいます。学年が進むごとに悩む内容は漠然としたものからより具体的になって、成長しているなあと感心させられました。反対に自己中心的な考え方に幼さを感じたこともありました。保健室へ行って雑談のような話をしただけと思った人もいるかもしれないけれど、それが体の不調ではなく心の不調に気づくきっかけにしてほしいとあえて話をしているのです。（腹痛や頭痛などの体調不良が、単に「寝たら治る」では解消できないこともあると実感した人も少なくないはず）今誰もが大人になる前に通る道ともいえる思春期真っ最中にいるんだから、しんどいこともあって当然。そこをあなたなりに乗り越えるための手助けのひとつとして、「あおぞら」は、あなたの気持ちが青空のように晴れわたりますように願って、

これからも応援を惜しまないつもりです。みんなに同じ時間があるのです。苦しかった過去は忘れなさいとは言わないけれど、年度の最後ぐらいは前向いて進めるような締めくくり方をしてほしいと思います。

そして、春休みは次の1年を新しい気持ちでスタートできるよう、有意義な準備期間に使ってください。



【 国際交流委員会 】

今年度もさまざまな取り組みを行ってきました。

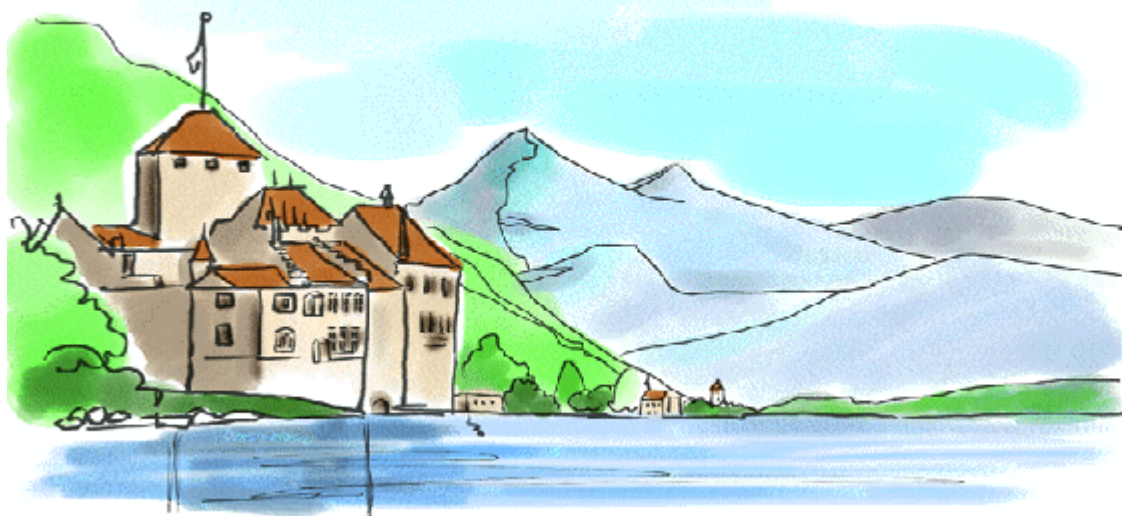
4月22日(火)	台湾・台北市立華江高級中学 本校訪問
6月2日(月)	シンガポール・ナヤンエアレッジ 吹奏楽団 本校訪問
6月中旬~7月18日(金)	フランスより 氏岡 穰くん 体験入学
7月10日(木)~11日(金)	アメリカより 知念 優さん 体験入学
7月26日(土)	中国からの長期留学生 張倩雲さん 帰国
10月28日(火)~31日(金)	2年生(62期生)台湾修学旅行 台北市立華江高級中学訪問
11月2日(日)	四天王寺ワッソ参加
11月27日(木)	日本 BPW 大阪クラブ 国際交流委員会実践発表
1月20日(火)	中国・長春市十一高校 本校訪問

予定	3月19日~27日	ウィーン音楽研修旅行
	7月下旬~8月上旬	ニュージーランド英語研修(約2週間)

生徒の国際交流委員会を設置してからこの3月で2年になります。委員会で活躍してくれた田村くんのメッセージです。

僕がこの夕陽丘高校に入学した理由は、ニュージーランド語学研修があったからです。最初は、英語を勉強するというにしか興味がなかったけど、この研修を初め、言葉も文化もまったく違う世界の人々と英語を通じてコミュニケーションをとることの楽しさを知りました。国際交流では、学校だけの交流だけでなく、校外で大阪を案内したり、夕陽丘で交流した生徒たちがいる地震被災地への募金活動など行ったりなど、さまざまな活動を行いました。国際交流委員になってからの2年間は本当に良い出会いに恵まれた充実した年でした。そしてまた、この経験が自分にとって進路や国際問題を考えるきっかけにもなり、世界を見る視野も広がりました。この経験を活かして、今後国と国を繋ぐ架け橋になればと思います。ありがとうございました。

(3年2組 田村正幸)



ヴィオーラホールでの学内演奏会

第140回ピッコロコンチェルティスタ(1月31日(土))と音楽科3年生演奏会(2月7日(土))が行われました。この春卒業する3年生にとってヴィオーラでの最後の舞台となる3年生演奏会は、多くの保護者や教員、後輩たちに見守られる中、熱のこもった演奏を聴かせました。

【3年生の感想】

「この制服で弾くのは最後かと思うと愛おしくて緊張もせず演奏することができました。」
「達成感でいっぱいになりました。」「夕陽丘では3年間、ピッコロなど演奏する機会が多く与えられるので本当に勉強になりました。」「卒業してからもピッコロを見に来たいです。」

【1・2年生の感想】(3年生演奏会について)

「どの先輩もすごく堂々として見えました。」「どの先輩も弾き終わった後、みんな笑顔でお辞儀をして舞台そでまで戻っていくのが印象的でした。」「音楽って何か、演奏って何か」について改めて考えさせられた。」「自分たちも先輩方のようにならないといけないんだと思うと焦りますが頑張ろうと思いました。」

ウィーン音楽研修旅行

3月19日(木)から27日(金)までの7泊9日の日程で実施されます。今回で第6回目となるこの研修は、音楽の都ウィーンで現地の演奏家による個人レッスン、楽友協会ホールでの演奏会、現地音楽高校との交流会、シュテファン教会での演奏など充実した内容で実施します。

【当面の日程】

- 2月27日(金)第61回卒業式
- 2月25日(水)～3月4日(水)
- 3月17日(火)後期普通科選抜入試学力検査(生徒登校禁止)
- 3月18・19日(水・木)(生徒校舎内立入禁止)
- 3月23・日
- 4月8日(水)始業式・入学式
- 4月9日(木)午前 離任式・対面式 午後 考査



・・・編集後記・・・

毎年この時期が来ると新しい旅立ちへのときめきと同時に別れの寂しさが身に感じられます。

本日、卒業を迎える皆さん、本当におめでとうございます。
夕陽丘高校での3年間は良き思い出となることでしょう。
そして、私たちもあなた方と過ごしたひとときを忘れず、明日のしあわせに向かって生きていこうと思います。

最後に、本年度の『前田純孝賞』に選ばれた作品を紹介してお別れしたいと思います。

台湾に行くから買ったアオいくツ十月下旬の青空を踏む

